



京都府立植物園と深泥池観察会の記録

今回 予定では9時15分京都駅集合で「清滝川に注ぐ菩提川源流域ハイク」でした。が、JR京都線の列車が架線事故の影響で75分もの大幅な遅延となり、周山行きバスに乗れなくなったため やむなく行き先を変更し「**京都府立植物園と深泥池**」になりました。

- * 日 時・・・2017年7月27日(木) JR京都駅中央改札前集合
- * 天 気・・・晴れ時々曇り
- * 参加者・・・9名 空三・伊藤・上條・中西・秦・藤井・倭・山本・万井
- * 行 程・・・JR京都駅—京都駅前バス停～京都府立植物園前バス停—植物園正門—観覧温室—森のカフェ—蓮池—ぼたん・しゃくやく園—竹・笹園—北山門— 深泥池—地下鉄北山駅

京都駅前(11:20)京都市バスに乗り、河原町通りを北上し、下鴨経由で京都府立植物園前バス停下車。11:15 正面入り口より入園。入口横の表示板に「只今、バオブバが開花してます！」のポスター掲示を見てまずは「**観覧温室**」に直行しました。温室前で 我々を出迎えてくれたのは 正に時計盤と見間違ふほどの珍しい形の花「**パッシフロア(時計草)**」でした。花の中央に出ている十字の針のようなものが 時間によって変わる(動く)との話がありました。後ろから「この暑いのに温室入るの！」との声も聞こえてきましたが 全員が中へ。

エントランスで 世界最大の花「ラフレシア」の標本と複製品を見ました。生花はとてつもなく臭いものだそうです。まずは **ジャングル室**へ。全身 汗でびっしょり。ハイビスカス・ヒョウタンノキ・ベニヒモノキ・八重咲のショウジョウトラノキ・ヒギリ・アンズリウム等々亜熱帯の植生を見て回り、次の**有用作物室**では 生活に関係の深いカカオ・マンゴー・パパイヤ・レンブ(リンゴとナシの掛け合わせ)などを観覧。**特別展示室**では 食虫植物展が行われていて 実際にハエを捉えているハエトリソウをはじめ ウツボカズラやサレセニアなど数多くの展示がありました。ネズミなども捉えて溶かしてしまう事もあるとの説明が植物園の係員さんからありました。そこを出ると **冷房室**です。涼しくて 直ぐに全身の汗も冷たくなりました。高山植物・フクシアチャームングや低温性のランや食虫植物などが見られました。**砂漠サバンナ室**では 今日のお目当て「**バオブバ**」です。カポスターでは 白っ



バオブバ



奇想天外



ハエトリソウ

ぽい花に写っていましたが 地味な茶色ながらダイナミックでインパクトのある大きな花でした。他「**奇想天外**」など 乾燥地の植物中心の展示室でした。**昼夜逆転室(ナイトフラワーガーデン)**では 昼でも夜の空間を作っており、ツキミソウやサガリバナ・ヨルガオなどの夜咲く花が見られました。次の**高山植物室**には タキユリ・アビエ

スコレブナ・エーデルワイス等 美しい花・かわいい花が咲いていました。室の入口ドアの上からは 冷たい風とミストが吹き出っていてとても気持ち良くて 幼い子供さんが 室の中を右に左にと走り回っていました。それを見る我々も 涼しさに暫くそこから動けなくなりました。最後はラン・アナナス室です。フリーセラ・アマランス・アティラパイナップル・カエンカズラ・ソーセージノキ・ヒゴロモコンロンカ等々多数の展示を楽しみました。



デンドロビウム



ミッキーマウスノキ



テラスで昼食

観覧温室を出て「森のカフェ」前で 昼食にしました。昼食後はセミの合唱が賑やかな木々の間の道に入りました。木陰にラッパのようなキノコが密生しています。直射日光は木で当たらないのですが 蚊などの虫が出そうとの話に 藤井さんより 全員に「虫よけのプレスレット」を頂きました。薄紫のレンゲショウマが咲いています。京都では祇園祭には欠かせない、悪霊退散・厄除の花と言われているヒオウギがありました。そこから「フウラン（富貴蘭）」は 皆で探し回っても なかなか見つからず 植物園の方に連れていって頂いてやっと見る事が出来ました。可憐で美しい白い花でした。着生うでカキノキに寄生していました。



フウラン



深泥池のタヌキモ



深泥池の案内板

ヒナウチワカエデ・バクチノキ・フウの大木 そしてシオカラトンボが多数飛び交っていた蓮池・ぼたん・しゃくやく園・竹笹園を見て回ってから 噴水前の木の下で暫しの休憩です。頂いた凍らしたゼリーが とても冷たくて美味しかったです。 ヒマワリ・クレマチス・ハゲイトウ・タイタンビカスを見て 植物園北門から 深泥池(みどろがいけ)へ向かいました。歩いて15分程で到着です。深泥池は14万年も前から存在していたと言われ、国の天然記念物です。ここだけの特異な生物が多く生息していて、トンボは約60種・ゲンゴロウ・アメンボも多数います。お吸い物に「深泥池のジュンサイ」は有名です。池の中ほどにある島は 3 分の 1 が水面に浮いていて、季節によって移動する浮島と言うことが確認されています。この池 京都では昔から「しばしば幽霊が出る所」と言われ、新聞でも取り上げられた事もあるとか・・・北山駅前解散(14:50)。

案内＆写真 奎三 ・ 記録 万井